

4

柏市社会福祉協議会の あゆみ



柏市社会福祉協議会のあゆみ

1 年表

■ 柏市社会福祉協議会

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
昭和 31 (1956)	<p>6月 柏市社会福祉協議会結成準備委員会発足</p> <p>7月 柏市社会福祉協議会創立総会開催 柏市社会福祉協議会が発足 (7月30日) 初代会長に松崎良太郎氏就任 会員200人・会費1人30円</p> <p>9月 老人慰問実施(9地区)</p> <p>10月 季節保育所開所(11月閉所)</p>	<p>4月 国道6号(呼塚-小金間)が通行開始</p> <p>12月 柏駅西口を開設</p>
昭和 32 (1957)	<p>5月 総会開催</p> <p>7月 柏市社会福祉協議会社会福祉地区を設定</p> <p>9月 敬老会開催(10地区)</p>	<p>3月 光ヶ丘団地の入居開始</p> <p>11月 柏市傷痍軍人会結成発起人会開催</p> <p>12月 国道6号(小金-青山間)が全線開通</p>
昭和 33 (1958)	<p>5月 総会開催</p> <p>9月 敬老会開催(10地区)</p>	<p>1月 柏電報電話局が開局(ダイヤル式通話となる)</p> <p>3月 「柏市敬老年金給付条例」公布</p> <p>4月 柏市身体障害者福祉会創立</p> <p>5月 敬老年金の給付開始</p> <p>11月 濱嶋千代丸氏が2代目市長に就任</p> <p>11月 「柏市母子福祉資金貸付条例」公布</p>
昭和 34 (1959)	<p>8月 代議員会開催</p> <p>9月 組織拡充計画を立て会員募集に着手</p> <p>10月 老人慰安会開催(4地区)</p>	<p>12月 豊四季光風園落成式</p> <p>12月 柏市母子福祉推進員協議会発足</p>
昭和 35 (1960)	<p>6月 代議員会開催</p> <p>10月 老人慰安会開催(4地区)</p>	<p>3月 「精神薄弱者福祉法」制定</p> <p>4月 公共下水道事業を開始</p>
昭和 36 (1961)	<p>6月 代議員会開催</p> <p>8月 心配ごと相談所開設</p> <p>10月 老人慰安会開催(5地区)</p>	

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
昭和 37 (1962)	8月 代議員会開催 9月 結婚 50 周年老人世帯調査実施 9月 老人慰安会開催（5 地区）	1月 第1回元旦マラソンを開催 1月 中央公民館（現アミュゼ柏）がオープン 10月 手足の不自由な子供を守る会発足
昭和 38 (1963)	6月 代議員会開催 6月 子供大会開催 9月 結婚 50 周年記念品贈呈式開催 10月 老人クラブ代表者会議開催 12月 市内要保護世帯調査実施	3月 柏第三小学校に市内の小中学校で初の屋内体育館が完成 4月 老人クラブ連合会発足 4月 柏市手足の不自由な子供を育てる会結成 6月 柏市民会館がオープン 7月 「老人福祉法」 制定
昭和 39 (1964)	4月 老人クラブ連合会開催 7月 総会開催 9月 結婚 50 周年記念品贈呈式開催 9月 敬老会開催（4 地区）	4月 豊四季台団地の入居開始 4月 県東葛飾支庁が松戸市に開庁 7月 「母子及び寡婦福祉法」 制定 10月 オリンピック東京大会開催 11月 市の人口 10 万人を突破
昭和 40 (1965)	3月 世帯更生資金滞納世帯相談会開催 4月 会員 5,400 人・会費 1 人 50 円に改定 9月 結婚 50 周年記念祝賀会開催	2月 市制施行 10 周年記念式典 2月 市役所庁舎が竣工 8月 「母子保健法」 制定 8月 東葛地区更生保護婦人会発会式
昭和 41 (1966)	7月 総会開催 9月 結婚 50 周年記念祝賀会開催 10月 敬老会開催	1月 母子福祉推進員決定 5月 柏保健所開設 8月 船橋市社会福祉協議会法人化 8月 国道 16 号（柏五小 - 若柴間）の第一期工事完了 9月 初の「敬老の日」 11月 山澤諒太郎氏が 3 代目市長に就任 11月 肢体不自由児訓練施設柏市簡易マザーズホーム開所式
昭和 42 (1967)	6月 老人福祉のための浪曲大会開催 8月 総会開催 9月 結婚相談所開設 9月 結婚 50 周年記念祝賀会開催 9月 敬老会開催（4 地区）	1月 言語障害児をもつ親の会結成 3月 千葉市社会福祉協議会法人化 3月 我孫子市社会福祉協議会法人化 4月 「柏市身体障害児童福祉手当支給条例」 公布 11月 「手をつなぐ親の会」、柏市福祉センター開所式（布施） 12月 習志野市社会福祉協議会法人化

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
昭和 43 (1968)	8月 総会開催 9月 結婚 50 周年記念祝賀会開催 9月 敬老会開催（4 地区）	1月 市川市社会福祉協議会法人化 3月 目の不自由な人のための「声の広報」始まる 3月 松戸市社会福祉協議会法人化 3月 市原市社会福祉協議会法人化 7月 県の人口 300 万人を突破 12月 柏市民生委員協議会発足 12月 東京府中市で 3 億円強盗事件発生
昭和 44 (1969)	9月 総会開催 9月 結婚 50 周年記念祝賀会開催 9月 敬老会開催（5 地区）	4月 交通遺児手当の受付始まる 6月 八千代市社会福祉協議会法人化 7月 「柏市社会福祉センターの設置及び管理等に関する条例」公布 7月 「柏市交通遺児手当基金に関する条例」公布 7月 柏市社会福祉センター開所 7月 米、有人宇宙船アポロ 11 号、初めて月面に到着 9月 鎌ヶ谷市社会福祉協議会法人化
昭和 45 (1970)	4月 東葛飾地区社会福祉協議会連絡会発足 9月 総会開催 9月 結婚 50 周年記念祝賀会開催 10月 敬老会開催（6 地区）	3月 大阪で万国博覧会開催 4月 国道 16 号（野田-千葉間）が全線開通 5月 「心身障害者対策基本法」制定 8月 市の人口 15 万人を突破 11月 市の木に「カシワ」を選定
昭和 46 (1971)	7月 総会開催 9月 柏市社会福祉協議会法人設立発起人会開催 9月 結婚 50 周年記念祝賀会開催 9月 敬老会開催（7 地区） 11月 東葛飾地区心配ごと相談所研究協議会開催	1月 身障者家庭奉仕員制度発足 4月 柏商工会が解散し、柏市商工会議所が発足 4月 柏駅の橋上駅舎が完成 4月 常磐線複々線化、営団地下鉄千代田線の乗り入れを開始 4月 北柏駅が開設 5月 「児童手当法」公布 11月 県柏児童相談所開所
昭和 47 (1972)	2月 柏市社会福祉協議会が社会福祉法人として認可（2月 14 日）※登記 3 月 21 日 6月 地域福祉相談員連絡会議開催 9月 結婚 50 周年記念祝賀会開催	2月 冬季オリンピック札幌大会開催 3月 「柏市老人いこいの家設置及び管理に関する条例」公布 3月 「柏市精神薄弱児通園施設設置及び

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
昭和 47 (1972)	9月 敬老会開催（6地区）	<p>管理に関する条例」公布</p> <p>4月 精神薄弱児通園施設「十余二学園」が開園</p> <p>5月 沖縄、27年ぶりに本土復帰（沖縄県発足）</p> <p>10月 柏市民文化会館がオープン</p> <p>12月 「柏市老人医療費の支給に関する条例」公布</p>
昭和 48 (1973)	<p>9月 会費徴収説明会開催（6地区）</p> <p>9月 結婚50周年記念祝賀会開催</p> <p>9月 敬老会開催（6地区）</p>	<p>3月 「柏市重度心身障害者福祉手当支給条例」公布</p> <p>3月 「柏市肢体不自由児通園施設設置及び管理等に関する条例」公布</p> <p>3月 「柏市老人医療費の支給に関する条例施行規則」制定</p> <p>4月 肢体不自由児通園施設「柏育成園」開園</p> <p>6月 千代田近隣センターがオープン</p> <p>10月 柏駅東口市街地再開発事業が完工</p> <p>10月 「柏市重度心身障害者医療費の支給に関する条例」公布</p> <p>11月 老人福祉バス「柏寿号」購入、翌月から運行開始</p> <p>12月 野田市社会福祉協議会法人化</p>
昭和 49 (1974)	<p>7月 第2代会長に渡部豊夫氏就任</p> <p>9月 結婚50周年記念祝賀会開催</p> <p>9月 敬老会開催</p> <p>10月 ふくし広報「社福かしわ」創刊号発行</p> <p>12月 第1回柏市歳末助けあいチャリティーショー開催</p>	<p>4月 「柏市社会福祉事業基金条例」公布</p> <p>4月 「柏市立精神薄弱者通所授産施設設置及び管理に関する条例」公布</p> <p>6月 精神薄弱者授産施設「青和園」開園</p> <p>6月 「柏市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例」公布</p> <p>8月 老人福祉センター「柏寿荘」オープン</p> <p>9月 柏市ろう者福祉会結成総会</p> <p>10月 県の人口400万人を突破</p> <p>11月 市制施行20周年記念式典挙行</p>
<p>※昭和50年以降は、新規事業を中心に記載し、恒例事業については掲載していません。</p>		
昭和 50 (1975)	<p>2月 第1回住民福祉大会開催</p> <p>3月 第1回市民大バザール大会開催</p> <p>4月 柏市社会福祉協議会事業運営基金を設置</p> <p>7月 住民福祉活動の組織化（町会長等を</p>	<p>4月 旭町近隣センターがオープン</p> <p>4月 重度視覚障害者のための「声の広報」始まる</p> <p>4月 柏育成園特殊学級開級式</p>

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
昭和 50 (1975)	<p>市社協支部長に)</p> <p>8月 母子家庭レクリエーション大会開催 (千葉県こどもの国)</p> <p>9月 ボランティアスクール開催</p> <p>10月 第1回支部長会議開催</p>	<p>5月 市の人口 20 万人を突破</p> <p>12月 「柏市社会福祉法人の助成に関する 条例」公布</p>
昭和 51 (1976)	<p>7月 青少年ボランティアスクール開催</p> <p>11月 第1回住民福祉シンポジウム開催</p>	<p>3月 市立図書館（本館）がオープン</p> <p>3月 「柏市児童福祉手当支給条例を廃止 する条例」公布</p> <p>3月 軽費老人ホーム「望陽荘」落成式</p> <p>4月 社会福祉法人おお田保育園開園</p> <p>4月 手話サークル「かしわの会」発足</p> <p>6月 柏市心身障害者福祉連絡協議会発足</p> <p>7月 柏寿荘への老人専用巡回バス「おお ぞら号」運行開始</p> <p>9月 柏地区 BBS 会発足</p> <p>11月 流山市社会福祉協議会法人化</p>
昭和 52 (1977)	<p>3月 奉仕活動センター（善意銀行）の開設</p> <p>8月 千葉県地域ぐるみ福祉活動モデル地 区に指定</p>	<p>4月 特別養護老人ホーム「望陽荘」開設</p> <p>4月 市民体育館・保健センターがオープン</p> <p>5月 十余二学園に幼児言語指導教室を開設</p> <p>6月 厚生省、平均寿命世界一と発表</p> <p>8月 米軍通信所の一部 95ha の返還を開始</p> <p>8月 独居老人 15 世帯に福祉電話を設置</p> <p>10月 点訳サークル「いなほ会」、市民便利 帳の点訳版を完成</p>
昭和 53 (1978)	<p>2月 地域ぐるみブロック別懇談会開催 (9地区)</p> <p>5月 「シルバーシティープラン都市」に 指定 老人給食サービス・国際理解教室・愛の 文通・ふれあいの集い・シルバーリー ダー育成・啓蒙運動・老人意識調査</p> <p>7月 シルバーリーダー募集</p> <p>7月 国際理解教室開催</p> <p>9月 身体障害者自動車運転免許技能取得 制度を開始</p> <p>9月 交通遺児家庭激励会開催</p> <p>10月 独居老人への給食サービス開始</p>	<p>2月 小田急・千代田線が相互乗り入れを 開始</p> <p>4月 市立柏高等学校が開校</p> <p>5月 盲人ガイドヘルパー制度を導入</p> <p>5月 柏寿荘老人福祉相談始まる</p> <p>5月 「シルバーシティープラン都市」に指 定され推進協議会を結成</p> <p>5月 老人福祉バス「はくよう号」運行開始</p> <p>5月 新東京国際空港開港</p> <p>7月 柏商業まつりを「柏まつり」として開催</p> <p>8月 身障者や寝たきり老人の足に特殊車 「シルバー号」配備</p> <p>9月 市、身体障害者用自動車運転免許取</p>

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
昭和 53 (1978)	11月 敬老の集い開催(10地区) 11月 千葉県社会福祉大会において、柏市社協が千葉県社協会長表彰を受賞 11月 第1回柏市中心身障害者(児)スポーツ大会開催 11月 第1回シルバーボランティアスクール開設 12月 愛の文通を開始(学生と市内独居老人)	得専用車を購入 9月 第1回柏市高齢者ゲートボール競技大会開催 11月 鈴木眞氏が4代目市長に就任
昭和 54 (1979)	3月 第1回シルバーサークル活動合同発表会開催 3月 愛の文通交流会開催(成田山) 5月 福祉関係者ブロック別懇談会開催(10地区) 7月 国際児童年記念写真展開催(10地区) 9月 ボランティア教養講座開催 10月 国際児童年記念シンポジウム開催 11月 国際児童年記念地域懇談会開催(10地区)	3月 南部近隣センターがオープン 3月 豊四季台近隣センターがオープン 4月 国際児童年記念事業開催 4月 西原近隣センターがオープン 4月 田中近隣センターがオープン 5月 第1回柏市シルバー運動会開催 6月 老人意識調査結果まとまる 8月 旧米軍柏通信所跡地全面返還 9月 消防本部新庁舎が完成 9月 柏市教育福祉会館建設着工 11月 市制施行25周年記念式典挙行
昭和 55 (1980)	4月 福祉教育指定校制度を開始 11月 全国社会福祉大会において、柏市社協が全国社協会長表彰を受賞	4月 光ヶ丘老人憩いの家開設 4月 朗読奉仕サークル発足 4月 永楽台近隣センターがオープン 4月 新大利根橋有料道路が開通 4月 布施近隣センターがオープン 5月 柏市高齢者事業団の作業所完成 8月 柏市高齢者事業団設立・9月法人化 10月 県東葛飾地区身障害者スポーツ大会開催(会場 柏市)
昭和 56 (1981)	4月 柏市教育福祉会館がオープンし、柏市社協事務所が同館内に移転 4月 中央老人福祉センター管理運営受託 5月 普通会費 一世帯80円に改定 5月 交通遺児等援護基金事業開始 10月 国際障害者年記念障害者(児)作品展「ともしび広場」開催 12月 国際障害者年記念クリスマス交流会開催	4月 柏市第2次総合計画がスタート 4月 柏市教育福祉会館開館 4月 県立柏養護学校開校 4月 デイサービス事業開始 4月 増尾近隣センターがオープン 4月 常磐自動車道(柏-谷田部間)が開通 5月 「障害に関する用語の整理のための医師法等の一部を改正する法律」公布

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
昭和 56 (1981)		5月 市立図書館、重度身障者への図書郵送貸出し開始 5月 柏シルバー学園大学院設立開校式開催 7月 自動車燃料費助成事業実施 7月 「障害者福祉都市推進事業」実施の指定(国)を受ける 10月 車いす用公衆電話ボックス(2台)を教育福祉会館前に設置(県内では市川市に次いで2番目)
昭和 57 (1982)	1月 国際障害者年記念福祉講演会「これからの福祉社会について」開催 3月 国際障害者年記念みんな仲間のつどい開催 3月 国際障害者年記念ポスター展開催 3月 国際障害者年記念パネルディスカッション開催 4月 普通会費1世帯100円に改定 7月 第3代会長に松崎良太郎氏就任 7月 柏市・トランス市姉妹都市委員会から柏市社協が感謝状を贈呈される 9月 市町村社協法制化運動 署名人数13,289人 10月 住民福祉講演会「地域福祉を考える」開催 11月 第1回かしわっ葉福祉まつり開催	4月 500円硬貨発行 4月 地域福祉センターを夜間開放(午後5時から9時迄) 4月 心身障害児(者)巡回療育相談事業開始 4月 光ヶ丘近隣センターがオープン 4月 新富近隣センターがオープン 4月 市の人口25万人を突破 6月 千葉県地域ぐるみ福祉振興基金の開始 7月 柏税務署開設(3市2町を所管) 7月 浦安市社会福祉協議会法人化 8月 テレ・メール(聴覚障害者用手書き電話)の設置 8月 市役所新庁舎(第二庁舎)を開庁 8月 福祉バス「ふるさと号」の購入 9月 デイサービス送迎用バス「ひまわり号」の設置
昭和 58 (1983)	3月 福祉映画会開催「典子は今」を上映 4月 第1回柏ことぶきゲートボール大会開催 6月 第1回ふれあいバスツアー開催(木更津) 8月 青少年ボランティアワークキャンプ開催 10月 市町村社協法制化実現	2月 「老人福祉法」施行 2月 第1回老人クラブ大会開催 3月 「災害弔慰金支給等に関する条例」公布、災害障害見舞金の設置 4月 特別養護老人ホーム「八幡苑」開園 4月 富里近隣センターがオープン 4月 高田近隣センターがオープン 7月 障害者喫茶コーナー「かしわっ葉」がオープン 7月 東武野田線に新柏駅開設 9月 根戸近隣センターがオープン 9月 県の人口500万人を突破

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
昭和 58 (1983)		11月 中国河北省承德市と友好都市を提携 12月 車いす用階段昇降機購入(2基)
昭和 59 (1984)	4月 「社会福祉協議会強化計画」(3か年計画)を策定 10月 独居老人を囲む会開催(15地区)	5月 手話通訳者派遣事業実施 6月 市制施行30周年記念三世代運動会開催 10月 新田原近隣センターがオープン 10月 市制施行30周年記念ゲートボール大会開催 10月 老人意識調査を実施 10月 柏寿荘開館10周年記念柏寿荘まつり開催 11月 市制施行30周年記念式典挙行
昭和 60 (1985)	4月 ボランティア連協10周年記念全体会・記念講演 「施設とボランティアの関わり」 5月 ボランティア連協10周年記念実行委員会発足 9月 第1回「福祉の心」作品展開催 10月 ボランティア連協10周年記念ボランティア活動PRパネル展開催(6か所) 12月 ボランティア連協10周年記念講演会開催 「ボランティア昨日・今日・明日」	1月 常磐自動車道、首都高速6号線が同時開通 7月 南部運動場を開設 7月 十余二にシルバーふれあい広場がオープン 11月 沼南町社会福祉協議会法人化
昭和 61 (1986)	2月 ボランティア連協10周年記念誌「手に手をとって」発刊 3月 ボランティア連協10周年記念講演会開催 「ボケについて」 9月 「地域ぐるみ福祉ネットワーク事業」スタート 11月 創立30周年記念第13回柏市住民福祉大会開催	5月 知的障害者通所授産施設「朋生園」開園 8月 福祉バス「おおぞら号」購入
昭和 62 (1987)	2月 創立30周年記念誌を発刊 7月 一円玉募金運動標語最優秀作品決定 「一円を活かして築く福祉の輪」 7月 基本福祉圏地域ぐるみ福祉ネット	3月 アメニティタウン計画を策定 4月 国鉄が分割・民営化され、「JR」発足 4月 東京慈恵会医科大学付属柏病院が開院 5月 保健勤労会館がオープン

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
昭和 62 (1987)	<p>ワーク事業推進委員会設立会議開催</p> <p>11月 ひとりぐらし老人の集い開催 (15地区)</p>	<p>5月 「社会福祉士及び介護福祉士法」公布</p> <p>8月 利根川治水 100年記念として手賀沼 花火大会を開催</p> <p>10月 松葉近隣センターがオープン</p> <p>10月 藤心近隣センターがオープン</p>
昭和 63 (1988)	<p>1月 小域福祉圏地域ぐるみ福祉ネット ワーク事業推進委員会設立要請会議 開催</p> <p>4月 小域福祉圏地域ぐるみ福祉ネット ワーク事業本格始動</p> <p>5月 ボランティア養成講座開催</p> <p>7月 第4代会長に根本三郎氏就任</p> <p>7月 地域ボランティア講座開催(3地区)</p> <p>10月 一人暮らしの方を対象に、柏中央地 区をモデル地区として配食サービ スを開始</p> <p>10月 ふれあいの集い開催(16地区)</p> <p>11月 地域ぐるみ福祉のまちづくり推進月 間キャンペーン実施</p>	<p>4月 青少年センターがオープン</p> <p>4月 瀬戸大橋開通</p> <p>5月 青函トンネル開業</p> <p>6月 医療センター 365日夜間診療体制発足</p>
平成元 (1989)	<p>3月 ボランティア教室開催</p> <p>3月 中級ボランティア講座開催</p> <p>4月 柏市ボランティア連絡会発足</p> <p>4月 ボランティア相談室開設</p> <p>5月 地域ボランティア講座開催</p> <p>7月 ねたきり老人おむつ助成事業開始</p>	<p>3月 市立柏高校が春の選抜高校野球大会 に初出場</p> <p>4月 市の人口 30万人を突破</p> <p>5月 手話通訳者設置事業を開始</p> <p>7月 市制 35周年・人口 30万人都市記 念のシンポジウム開催</p> <p>11月 市制施行 35周年記念式典挙 行</p> <p>12月 緊急通報システム導入</p>
平成 2 (1990)	<p>2月 中級ボランティア講座開催</p> <p>3月 高校生ボランティア講座開催</p> <p>6月 老人介護講座開催</p> <p>10月 福祉カー「ゆうあい号」の貸出し事業 開始</p>	<p>4月 医療センター 24時間急病診療を開始</p> <p>4月 酒井根近隣センターがオープン</p> <p>4月 北部近隣センターがオープン</p> <p>6月 「老人福祉法等福祉八法改正法」公布</p>
平成 3 (1991)	<p>2月 青少年ボランティア講座開催</p> <p>3月 青少年ワークキャンプ開催</p> <p>3月 教養講座開催</p>	<p>3月 常磐新線第3セクターが創立</p> <p>3月 船戸山高野に清掃工場が完成</p> <p>4月 柏県税事務所がオープン</p>

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成3 (1991)	5月 在宅ホームヘルプサービス協力員養成講座開催 10月 住民参加型有償在宅福祉サービス「さわやかサービス」利用会員・協会の受付開始 11月 福祉ボランティアまつり開催	4月 柏市第3次総合計画スタート 10月 在宅心身障害者（児）一時介護委託料助成事業を開始 11月 ふるさと21健康長寿のまちづくり基本計画検討委員会発足 11月 アメリカ合衆国准州グアムと友好都市提携
平成4 (1992)	5月 在宅ホームヘルプサービス協力員養成講座開催	1月 成人病の健康診査に登録制導入 7月 国立がんセンター東病院開院 7月 バルセロナオリンピックに柏から4人の選手が出場 11月 市の施設が完全週休二日制移行
平成5 (1993)	5月 さわやかサービス協力員養成講座開催	7月 柏市立柏病院が開院 11月 南部老人福祉センターがオープン 11月 本多晃氏が5代目市長に就任 12月 「心身障害者対策基本法」が「障害者基本法」に改正される
平成6 (1994)	4月 生活福祉資金貸付事業活性化モデル事業指定（県社協） 4月 地域福祉活動計画策定に着手 7月 第5代会長に市村友衛氏就任	1月 主任児童委員を設置 3月 政治改革法が成立。衆議院議員の選挙区が、中選挙区から小選挙区と比例代表の並立制となる 3月 柏市老人保健福祉計画を策定 3月 柏市保健医療計画を策定 4月 市役所内に「すこやか相談窓口」を設置 4月 財団法人柏市福祉公社を設立 4月 南部在宅介護支援センターを開設 4月 高齢者在宅改造費助成事業を開始 11月 あげぼの山農業公園が全面オープン 11月 子育て支援事業を開始 11月 柏レイソルのJリーグ昇格が決定 11月 市制施行40周年記念式典挙行
平成7 (1995)	3月 会費等財政検討委員会設置 3月 高校生ワークキャンプ開催 4月 市町村ボランティアセンター活動事業指定（国）	1月 阪神・淡路大震災発生 1月 被災地である神戸市・芦屋市に市職員を派遣 10月 柏市・我孫子市・沼南町で第1回手

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成 7 (1995)	4 月 会費等財政検討委員会開催 (4 回開催)	賀沼マラソンを実施 10 月 重度身体障害者の訪問入浴サービス 事業を開始 11 月 ウイングホール柏斎場がオープン
平成 8 (1996)	1 月 お父さんボランティア講座開催 2 月 地域ボランティア講座開催 3 月 「ボランティアセンターだより」創刊 号発行 3 月 高校生ワークキャンプ開催 4 月 地域福祉活動組織が 16 地区から 19 地区に細分化 4 月 紙おむつ助成事業が現物助成から現 金助成に変更 6 月 小域福祉圏地域ぐるみ福祉ネットワー ク事業推進委員会連絡会議開催「地域 福祉活動の活性化に伴い、敬老の集い ・ふれあいの集い・ひとりぐらし老人の 集い・地域福祉事業の 4 事業を一本化 し、地区主体による事業展開を図る」 7 月 柏市社協創立 40 周年 10 月 会費等財政検討委員会委員長から柏 市社協会長に答申 「平成 9 年度から普通会費を 1 世帯 当たり 200 円に改定」 10 月 創立 40 周年記念第 2 3 回柏市住民 福祉大会開催 11 月 代表地区長会議開催 「普通会費の 改定」を協議	2 月 市立砂川美術工芸館がオープン 9 月 送迎サービス事業を開始 11 月 さわやかちば県民プラザがオープン 12 月 配食サービス事業を開始 12 月 柏市民健康づくり審議会を設置 12 月 骨粗しょう症予防教室を開始 12 月 柏市福祉行政審議会を設置
平成 9 (1997)	4 月 普通会費を 1 世帯当たり 200 円に改定 4 月 老人福祉センター(柏寿荘)管理運 営事業を受託 7 月 夏季ボランティア体験学習実施	3 月 ノーマライゼーションかしわプラン 作成 3 月 柏警察署が移転 4 月 柏市母子保健計画策定 4 月 妊婦、乳児一般健康診査、3 歳児健 康診査、新生児訪問指導事業を開始 4 月 子育てにこここ電話相談開設 10 月 「野田」ナンバーが誕生 11 月 健康情報データシステム導入 12 月 東京湾アクアラインが開通

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成 10 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> 1月 小域福祉圏地域ぐるみ福祉ネットワーク事業推進委員会連絡会議開催「地区社協移行に向けて協力依頼」 2月 企業のための社会貢献活動講座開催 3月 「地区社会福祉協議会設置規程」評議員会で承認 4月 地区社会福祉協議会設置への移行開始 4月 南部老人福祉センター管理運営事業を受託 5月 「かしわっ葉福祉だより」創刊号発行 6月 「柏市社協あんない」を全戸に配布 7月 第6代会長に六川カホル氏就任 7月 小学生夏休み手話教室開催 12月 交通遺児家庭激励会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 柏市健康文化都市プラン策定 4月 機構改革により保健衛生部と福祉部を統合 4月 柏市民健康づくり推進員として健康づくり推進員と食生活推進員を設置 4月 健康文化都市推進事業を開始 4月 健康文化都市推進市民組織「3あいサポート柏」を設置 4月 ホリデイサービス事業（老人デイサービス）を開始 4月 誕生日検診（基本健康診査・乳がん検診・子宮がん検診）を導入 4月 柏市保健医療審議会を設置 7月 柏市老人保健施設「はみんぐ」がオープン
平成 11 (1999)	<ul style="list-style-type: none"> 1月 市内社会福祉貢献企業リスト作成 4月 各老人福祉センターにて「いきいきカルチャー柏」開講 7月 小学生夏休みボランティア教室開催 10月 かしわ広域後見支援センター業務開始 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 かしわ子どもプラン 21 策定 4月 アミュゼ柏がオープン 4月 J R 柏駅南口が開設 4月 柏ふるさと大橋が開通 10月 柏市介護認定審査会を設置 要介護、要支援申請の受付を開始 11月 柏レイソルがJリーグナビスコカップで初優勝
平成 12 (2000)	<ul style="list-style-type: none"> 4月 高田小学校にて「世代間交流教室」を開始 10月 かしわファミリー・サポート・センター事業開始 10月 かしわファミリー・サポート・センター入会説明会開催（15回開催） 12月 介護相談員派遣事業開始（介護相談員4名委嘱） 12月 交通遺児・病気遺児家庭激励会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 柏市高齢者いきいきプラン 21 を策定 3月 「柏市介護保険条例」ほか関連2条例を制定 4月 介護保険制度開始 4月 市直営で基幹型在宅介護支援センター介護相談協力員（薬局）を設置 7月 柏市福祉行政審議会と柏市保健医療審議会を統合し、柏市健康福祉審議会を設置 8月 情報公開制度発足 10月 市立介護老人保健施設「はみんぐ」に隣接してリハビリ広場完成
平成 13 (2001)	<ul style="list-style-type: none"> 1月 少子化対策臨時特例交付金事業・子育て支援啓発講演会開催 2月 かしわファミリー・サポート・センター 	<ul style="list-style-type: none"> 1月 機構改革により、保健福祉部所管課の一部が児童家庭部として独立。併せて教育委員会所管であった子ども

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成 13 (2001)	<p>広報紙「ぞうさん通信」創刊号発行</p> <p>3月 柏市社協事務所が介護予防センターいきいきプラザ内に移転</p> <p>4月 共同募金会柏市支会、柏市民生委員児童委員協議会、柏市老人クラブ連合会の事務局を柏市社協が運営</p> <p>5月 ボランティア育成講座開催</p> <p>5月 いきがい活動通所支援事業開始</p> <p>6月 地区社協・小域福祉圏連絡会議開催</p> <p>9月 介護予防事業始まる～高齢者対象パソコン教室・世代間交流事業・ボランティア育成講座～</p> <p>9月 地区社協会長等研修会(3回開催)</p> <p>10月 「ふれあいのまちづくり事業」の指定を受ける(国)</p> <p>10月 赤い羽根共同募金運動(街頭募金)実施</p> <p>10月 精神障害者福祉事業講演会開催</p>	<p>ルーム関連事業が児童家庭部(児童育成課)に移管</p> <p>3月 介護予防センターいきいきプラザがオープン</p> <p>4月 柏市第4次総合計画がスタート</p> <p>9月 アメリカで同時多発テロ発生</p> <p>10月 かしわインフォメーションセンターがオープン</p>
平成 14 (2002)	<p>3月 ふれあいのまちづくり推進会設置・開催</p> <p>4月 「ふれあいのまちづくり事業」の指定に伴い地区社協活動の充実を図る～サロン活動・友愛訪問・ふれあい給食サービス・三世代交流事業・敬老事業・啓発活動～</p> <p>4月 シルバー事業に新規事業が加わる～グラウンドゴルフ大会・シルバー運動会・じゅげむ芸能大会・シルバー作品展～</p> <p>5月 財団法人柏市福祉公社解散に伴う事務事業調整を開始</p> <p>6月 地区社会福祉協議会連絡会開催</p> <p>8月 地区社協福祉教育講演会開催</p> <p>9月 介護予防事業実施</p>	<p>5月 介護予防センター「ほのぼのプラザますお」がオープン</p> <p>6月 柏駅東口ダブルデッキにエスカレーター設置</p>
平成 15 (2003)	<p>1月 理事会において財団法人柏市福祉公社事務事業の移行決定</p> <p>1月 ボランティアコーディネーター研修実施</p>	<p>3月 財団法人柏市福祉公社が解散</p> <p>6月 柏駅西口～羽田空港間に高速バス運行開始</p> <p>7月 柏市・沼南町合併協議会設置</p>

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成 15 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> 2月 傾聴ボランティア講座開催 4月 事務局に課制を導入(総務課・地域福祉課・さわやかサービス課) 4月 長期生活支援資金、緊急小口資金貸付制度開始 4月 財団法人柏市福祉公社から住民参加型有償在宅福祉サービス「さわやかサービス」、「配食サービス」事業を移行し開始 7月 夏季ボランティア体験学習受入れ先紹介冊子「夏ボラのススメ」発行 9月 介護予防事業「健康体操研修会」開催 9月 シルバー事業開催(運動会・芸能大会・作品展) 9月 ボランティアリーダー育成研修実施 10月 柏市社協のホームページを開設 12月 ふれあいのまちづくり事業推進研修会開催 12月 保健福祉情報誌「お役立ちくん」発行 	<ul style="list-style-type: none"> 9月 市の施設が全面禁煙に 10月 南柏駅東口の新しい駅前広場が供用開始 10月 柏駅～慈恵医大柏病院のバス路線が開通 11月 全日本吹奏楽コンクール全国大会で酒井根中が金賞受賞 11月 児童虐待防止マニュアルを作成、かわ SOS 子どもホットラインを設置 12月 エンジョイ・パトロールを開始
平成 16 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> 1月 柏市・沼南町社会福祉協議会合併協議会設置の承認 1月 社会福祉協議会合併協議会会議開催(2回) 3月 福祉教育のための教職員向け手引書「おおきなくりの木の下で」発行 4月 収益事業として自動販売機設置経営事業を開始 4月 社会福祉協議会合併協議会会議開催(5回) 9月 会費等財政検討委員会設置(4回開催) 9月 柏市・沼南町社会福祉協議会合併契約調印式開催 12月 ふれあいのまちづくり事業推進研修会開催 12月 会費等財政検討委員会委員長から柏市社協会長に答申 「平成 17 年度から会員制度を住民会員・特別会員・団体会員・個人会員に改 	<ul style="list-style-type: none"> 1月 JOMO サンフラワーズが全日本総合選手権 4 連覇 4月 女性の健康診査を見直し、女性の基本 35 検診を導入 5月 健康文化都市推進組織「3 あいサポート柏」から独立し、「柏まちづくり実行委員会」を組織 7月 柏市・沼南町合併協定調印式 8月 アテネオリンピック女子バスケットボール日本代表に JOMO サンフラワーズからヘッドコーチや選手 12 人が出場 9月 アテネパラリンピック車椅子テニスダブルスで市内のテニス倶楽部に所属する齊田悟司・国枝慎吾選手が金メダル 10月 全日本吹奏楽コンクールで市立柏高校が金賞、柏中学校が銀賞、酒井根中学校が銅賞を受賞 11月 母子福祉推進員制度廃止

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成 16 (2004)	め住民会費を 1 世帯当たり 300 円に改定」	
平成 17 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> 2 月 精神障害者福祉事業講演会開催 2 月 西原近隣センター・南部近隣センターにおいて地区別計画策定ヒアリング実施 3 月 西原地区と南部地区において懇談会開催 3 月 柏市社会福祉協議会と沼南町社会福祉協議会が合併 3 月 「柏市社会福祉協議会」の主たる事務所をいきいきプラザに置く(さわやかサービス課を「ボランティアセンター」に、沼南町社会福祉センターを「沼南社会福祉センター」に改称し、ボランティア育成部門及び在宅福祉サービス部門の拠点とする)地域福祉課に「総合相談担当」を配置 4 月 住民会費を 1 世帯当たり 300 円に改定 4 月 老人福祉センターにおいて「介護予防・世代間交流事業講座」を開講 7 月 第 7 代会長に為成勝五郎氏就任 9 月 ボランティアセンター運営委員会設置 9 月 理事会専門委員会設置(6 回開催) 10 月 保健福祉情報誌「お役立ちくん」改訂版発刊 12 月 ふれあいのまちづくり事業推進研修会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 3 月 柏市と沼南町が合併・沼南庁舎開庁 4 月 南部クリーンセンター本格稼働 4 月 中原ふれあい防災公園オープン 4 月 合併記念式典を開催 7 月 千葉きらめき総体が開催(柏市はテニス競技の会場) 8 月 つくばエクスプレス開業 「柏の葉キャンパス駅」「柏たなか駅」が誕生 9 月 南部・藤心地域でジャンボタクシーが運行開始 10 月 市長選挙で本多晃市長が四選 12 月 赤い救急隊「赤救隊」が始動
平成 18 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> 1 月 介護予防事業「認知症予防講座」実施 2 月 「市民と創る認知症高齢者介護啓発研修会」開催 2 月 評議員専門部会設置(3 回開催) 3 月 災害ボランティア立ち上げ研修会開催 3 月 柏市地域健康福祉活動計画を策定 4 月 送迎サービス「こらくだくん」福祉有償運送開始 	<ul style="list-style-type: none"> 2 月 合併記念 NHK「のど自慢」開催 4 月 柏市中期基本計画を策定 4 月 地域包括支援センター開設 4 月 リフレッシュプラザ柏オープン 4 月 砂川美術工芸館が再開 6 月 防災福祉 K-Net 発足 10 月 市民活動センターオープン 10 月 柏ナンバー導入

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成 18 (2006)	<p>4月 老人福祉センター(4館)、地域福祉センターの管理・経営を受託(指定管理者)し、介護予防講座・障害者社会参加講座を展開</p> <p>4月 栄養改善事業を受託</p> <p>6月 柏市社会福祉協議会創立50周年記念事業準備委員会設置(4回開催)</p> <p>8月 8月を「会員増強月間」とし会員募集活動を展開</p> <p>10月 創立50周年記念第33回柏市住民福祉大会開催</p> <p>10月 創立50周年記念誌を発刊</p>	
平成 19 (2007)	<p>4月 ボランティアセンターを「支えあい推進課」に変更</p> <p>5月 社協だより紙面一新</p> <p>7月 風早南部地域在宅介護支援センターを受託</p> <p>12月 第2期計画策定に向けアンケート調査実施</p>	<p>3月 柏市地球温暖化対策条例を制定</p> <p>10月 旧吉田家住宅を市指定文化財に指定</p> <p>11月 沼南地区で「かしわコミュニティバス」と「かしわ乗合ジャンボタクシー」運行開始</p>
平成 20 (2008)	<p>2月 柏市地域健康福祉活動計画委員会を設置</p> <p>4月 沼南地域包括支援センターを受託</p> <p>8月 団体助成見直し開始(平成21年度～)(ボランティア、当事者・福祉団体、地域課題解決活動)</p> <p>10月 市民・市・社協の協働による地域活動拠点強化モデル事業提案</p> <p>10月 柏市家事・育児援助業務を受託</p>	<p>4月 中核市移行</p> <p>4月 柏市保健所開設</p> <p>6月 柏の葉サテライトオフィスがオープン</p> <p>8月 沼南庁舎がリニューアル(子ども図書館・市民交流サロン・郷土資料展示室がオープン)</p>
平成 21 (2009)	<p>3月 第2期柏市地域健康福祉活動計画を策定</p> <p>3月 災害時職員初期行動・災害ボランティアセンターマニュアル作成</p> <p>3月 家族食事会助成券事業終了</p> <p>4月 風早南部地域活動センター開設</p> <p>4月 緊急援護金支給開始</p> <p>4月 いきいきプラザ介護予防事業を「介護予防を担う人材育成の場」と位置</p>	<p>6月 柏市都市計画マスタープラン策定</p> <p>11月 旧吉田家住宅歴史公園がオープン</p> <p>11月 秋山浩保氏が6代目柏市長に就任</p>

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成 21 (2009)	<p>づけ充実・強化</p> <p>4月 健やかさん教室事業を受託</p> <p>8月 広報紙全面リニューアル、地域福祉の情報紙「紙ひこうき」に改称</p> <p>9月 災害ボランティアセンター設置訓練開始</p> <p>10月 生活福祉資金貸付制度に総合支援資金・臨時特例つなぎ資金を創設</p>	
平成 22 (2010)	<p>2月 沼南社会福祉センターこども室リニューアルオープン</p> <p>7月 アクティブシニア外出ガイド発行（沼南地域包括支援センター）</p> <p>8月 かしわ成年後見センター開設・法人後見開始</p> <p>9月 介護支援サポーター制度業務を受託</p> <p>11月 松葉町地域活動センター開設</p> <p>11月 沼南社会福祉センターこども室 part 2 をオープン</p>	<p>3月 柏市総合交通計画策定</p> <p>4月 ウェルネス柏がオープン</p> <p>8月 人口 40 万人突破</p> <p>11月 市役所本庁舎別館完成</p>
平成 23 (2011)	<p>1月 ボランティアセンター活性化プラン策定</p> <p>3月 東日本大震災における災害ボランティア派遣・市内被災者支援</p> <p>4月 東日本大震災における被災地等支援（通年）</p> <p>5月 役員及び評議員の定数等見直し</p> <p>10月 認知症にやさしい紙芝居発行（沼南地域包括支援センター） 協力：二松学舎大学附属柏高等学校美術部</p>	<p>3月 東日本大震災が発生</p> <p>10月 市立柏高校に新体育館が完成</p> <p>12月 柏レイソルが J1 リーグ初優勝</p>
平成 24 (2012)	<p>3月 配食サービス事業・栄養改善事業受託終了</p> <p>4月 柏市市民後見推進事業を受託</p> <p>4月 市保健福祉総務課との連絡調整会議を定例化</p> <p>6月 会員募集チラシ全面リニューアル</p> <p>10月 災害ボランティアコーディネーター養成講座を開始</p>	<p>3月 柏市除染実施計画を策定</p> <p>4月 柏の葉小学校が開校</p> <p>4月 沼南消防署手賀分署が開署</p> <p>5月 市内全域で断水（ホルムアルデヒドが水質基準値超え）</p> <p>9月 旧吉田氏庭園が登録記念物登録</p> <p>10月 柏市が緑の都市賞「内閣総理大臣賞」を受賞</p>

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成 25 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> 1月 第3期柏市地域健康福祉活動計画策定委員会を設置 3月 新・社会福祉法人会計基準へ移行（平成25年度予算から） 4月 自殺予防対策事業を受託（かしわお元気コール、普及啓発） 5月 光ヶ丘地域活動センター開設 7月 第8代会長に中谷茂章氏就任 9月 社協ガイド全面リニューアル 11月 ホームページ全面リニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 We Love Kashiwa キャンペーンが1年間開催 8月 柏・我孫子花火大会 in 手賀沼が市内5会場で開催 8月 かしわ街ごとキッズニアが市内170店舗で開催 11月 柏レイソルがナビスコ杯で14年ぶり優勝 11月 柏市長選 秋山浩保市長が再選 12月 柏駅前「ヒカリデッキかしわ2013」が開催
平成 26 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> 2月 わたしの望みノート（意思決定支援事業）発行 2月 ボランティアセンターでNPO法人の情報登録制度を開始 3月 第3期柏市地域健康福祉活動計画策定 4月 リフレッシュプラザ柏内喫茶室管理運営（平成27年度まで） 5月 人事・財政に係る基本方針策定 6月 公用ロゴタイプ作成・封筒全面リニューアル 6月 福祉教育普及パンフレット「ふくしの種」発行開始 7月 柏まつり「ふれあいストリート」運営を開始 12月 社会福祉法人改革に向けた市内法人との意見交換開催 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 柏地域医療連携センターがオープン 4月 柏市消防団に女性消防団が発足 7月 広報番組「これってナンダイ！？市立柏研Q所」スタート 11月 市制施行60周年
平成 27 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> 2月 市内社会福祉法人との顔合わせ会を開始 2月 地域福祉啓発ポスター発行 2月 柏市と共に柏市地域支え合い体制整備研究会を発足 3月 健やかかさん教室事業受託終了 4月 生活支援体制整備事業を受託 4月 かしわ福祉権利擁護センター改編 4月 地域活動センターを「地域いきいきセンター」に改称 	<ul style="list-style-type: none"> 1月 日立サンロッカーズ、JX-ENEOS サンフラワーズが日本バスケットボール選手権大会で日本一に 4月 市民文化会館がリニューアルオープン 12月 市民文化会館でNHKのど自慢が開催 12月 東京大学宇宙線研究所所長梶田隆章氏ノーベル物理学賞を受賞

年	柏市社会福祉協議会のあゆみ	柏市および社会の動向
平成 27 (2015)	<p>4月 移動サービス料金改定・チケット制廃止</p> <p>6月 豊四季台地域いきいきセンター開設</p> <p>6月 ぞうさんルーム（一時預かり）開始（ファミサポ）</p> <p>9月 沼南社会福祉センター外壁・屋上防水等改修工事</p>	
平成 28 (2016)	<p>3月 自殺予防対策事業受託終了（かしわお元気コールは地域活動拠点事業で継続）</p> <p>4月 沼南社会福祉センター1階多目的トイレ及び2階こども室改修工事</p> <p>4月 地域子育て支援拠点事業を受託</p> <p>5月 はぐはぐひろば沼南を開設</p> <p>5月 生活支援人材無料職業紹介所開設</p> <p>12月 第43回柏市住民福祉大会開催（第2部創立60周年記念公演）</p> <p>12月 創立60周年記念誌を発刊</p>	<p>4月 第5次総合計画がスタート</p> <p>5月 柏市文化・交流複合施設 パレット柏がオープン</p>

■ 旧沼南町社会福祉協議会

年	旧沼南町社会福祉協議会のあゆみ	旧沼南町および社会の動向
昭和 44 (1969)	<p>4月 沼南町社会福祉協議会設立（任意団体）事務所を役場庁舎内に置く</p> <p>10月 赤い羽根共同募金運動（継続）</p> <p>12月 歳末助け合い運動（継続）</p>	<p>3月 県道船橋・取手線（現船橋・我孫子線）全線舗装となる</p> <p>10月 沼南町交通安全対策協議会発足</p>
昭和 45 (1970)		<p>1月 沼南・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合のし尿処理施設が完成し、共同処理開始</p> <p>9月 沼南町の木「椎」に決まる（昭和48年の千葉国体記念事業）</p>
昭和 46 (1971)		<p>2月 町営水道の事業認可を受ける</p> <p>3月 沼南電話局（91）開局</p> <p>4月 島村洪一郎氏が2代目町長に就任</p>
昭和 47 (1972)		<p>4月 中台正夫氏沼南町の名誉町民となる</p> <p>10月 第1回沼南町町民体育大会開催</p> <p>10月 沼南町史編さん委員会発足</p>
昭和 48 (1973)		<p>3月 北千葉広域水道事業団発足</p> <p>11月 家庭児童相談室開設</p>
昭和 49 (1974)		<p>4月 消費者生活相談室開設</p> <p>11月 町制施行10周年記念式典挙行</p>
昭和 50 (1975)		<p>4月 清掃工場操業開始（旧清掃工場、初のゴミ焼却施設）、ゴミの分別収集も始まる</p> <p>4月 広報無線による行政情報や非常災害等の通報開始</p> <p>5月 沼南町役場消防発足</p>
昭和 51 (1976)		
昭和 52 (1977)		<p>3月 沼南台土地区画整理事業区域の呼称「大津ヶ丘」となる</p> <p>7月 婦人交通安全指導員設置</p> <p>10月 カードによる印鑑登録証発行</p>

年	旧沼南町社会福祉協議会のあゆみ	旧沼南町および社会の動向
昭和 53 (1978)		3月 大津ヶ丘団地の入居開始 3月 阪東バス 柏駅～大津ヶ丘団地間のバス路線運行開始 4月 町営上水道が給水開始 7月 手賀沼漁業協同組合の手賀沼水産会館オープン
昭和 54 (1979)	7月 福祉資金貸付制度制定 7月 世帯更生資金・老障資金貸付制度受託	1月 沼南町商工会館完成 1月 相馬正義氏が3代目町長に就任 5月 町の人口3万人突破
昭和 55 (1980)	1月 沼南ボランティア会発足 4月 手話サークル「まこもの会」発足	4月 沼南町消防署開設（常備消防体制スタート） 8月 総合運動場完成（現塚崎運動場）
昭和 56 (1981)		4月 町営上水道、北千葉水道企業団から受水開始（江戸川） 10月 第1回沼南まつり開催（17,000人参加） 10月 下総基地が住宅防音区域に初めて指定される
昭和 57 (1982)		1月 第1回沼南町健康マラソン大会開催（13,000人参加） 4月 二松学舎大学沼南キャンパス開校 8月 手賀沼水面清掃船「みずすまし号」進水
昭和 58 (1983)		4月 町立高柳保育所オープン 11月 沼南町役場第二庁舎完成（地上6階 地下1階） 12月 移動窓口車（みどり号）運行開始
昭和 59 (1984)	4月 法人化に向けての準備開始	4月 沼南町老人福祉センター「いこい荘」オープン 4月 県立沼南高柳高等学校開校 6月 町制施行20周年記念式典挙行 7月 町内初の移動入浴車運行開始 10月 手賀沼の浄化対策としてハクレンの稚魚放流

年	旧沼南町社会福祉協議会のあゆみ	旧沼南町および社会の動向
昭和 60 (1985)	<ul style="list-style-type: none"> 4月 福祉活動専門員設置 4月 福祉機器の貸出し事業開始 4月 ゲートボール連合会の事務局を担う 4月 沼南町老人福祉センター「いこい荘」管理運営受託 6月 寝たきり老人慰問品配布 (平成 12 年廃止) 7月 長期療養者夏季見舞金支給 (平成 8 年廃止) 10月 町社協事務所を沼南町老人福祉センター内に移す 11月 沼南町社会福祉協議会法人化 初代会長に相馬正義氏(町長) 就任 12月 第 1 回福祉クリスマス会開始 (平成 5 年廃止) 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 町の一般廃棄物最終処分場完成 7月 町の花いっぱい運動スタート
昭和 61 (1986)	<ul style="list-style-type: none"> 2月 社協広報「社会福祉沼南」創刊号発行(70号廃刊) 2月 2月を会員全戸加入運動推進月間とする 自主財源確保を視点に以後推進 5月 第 1 回母子・父子レクリエーション事業実施(平成 8 年廃止) 5月 沼南ライオンズ・クラブ車輛寄付 7月 心配ごと相談所設置 7月 7月を会員・会費募集強調月間に設定 8月 身体障害児・知的障害者プール教室開催 8月 第 1 回学生ボランティア講座(高校生対象)開始 次世代を担う福祉教育を視点に以後推進(平成 12 年廃止) 9月 第 1 回老人福祉大会開催 (平成 12 年廃止) 10月 第 1 回福祉バザー開催 (平成 12 年廃止) 11月 第 1 回住民福祉推進大会開催 (平成 11 年廃止) 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ハレー彗星大接近、町でも観察会 4月 沼南町消防署高柳分署開設 12月 高柳西部「しいの木台」土地区画整理事業(施工面積 48.5ha)を都市計画決定

年	旧沼南町社会福祉協議会のあゆみ	旧沼南町および社会の動向
昭和 62 (1987)	<p>3月 基本福祉圏ネットワーク推進委員会発足 地域住民の組織化による基盤整備を視点に以後推進</p> <p>4月 地域ぐるみ福祉ネットワーク職員設置</p> <p>4月 福祉振興基金設置</p> <p>5月 社会福祉協議会対策部会設置</p>	<p>4月 手賀の丘公園・運動場オープン</p> <p>8月 利根川治水 100 年記念行事挙行 (手賀沼花火大会など)</p> <p>12月 下総基地 P3C 配備</p>
昭和 63 (1988)	<p>3月 手賀地区ネットワーク推進委員会発足 高齢者基本・個別調査、地域懇談会から手掛ける</p> <p>4月 災害見舞金支給規則制定</p> <p>4月 ふれあい募金箱の設置</p> <p>7月 第 1 回ボランティア講座開催 福祉教育推進・ボランティア養成・組織化による基盤整備を視点に以後推進</p> <p>9月 沼南ボランティアサークル B&G 発足 ボランティアの組織化を視点に以後推進</p>	<p>1月 沼南町住民登録のオンラインシステム稼動</p> <p>5月 旅券事務所東葛分室が松戸市内に開設</p> <p>8月 町の人口 4 万人を突破</p> <p>12月 町の印鑑登録事務が電算化される (印鑑登録証が磁気カード化)</p>
平成元 (1989)	<p>3月 高柳地区ネットワーク推進委員会発足</p> <p>4月 小・中・高校全校を福祉教育推進校に指定</p> <p>4月 配食サービス「ゆずり葉の会」発足</p> <p>4月 手話講座の開始</p> <p>4月 朗読講座並びに組織化「うぐいすの会」</p> <p>4月 点訳講座並びに組織化「つぶら会」</p> <p>5月 収集ボランティア「ロータスの会」組織化</p> <p>6月 ロータスクーポン 360 万点収集運動開始</p> <p>11月 在宅ケアを考える会 住民参加型在宅福祉サービスを視点に以後推進</p>	<p>3月 木炭などによる礫間処理浄化施設設置（梁井入落し）</p> <p>4月 沼南町保健相談センターオープン</p> <p>9月 沼南町の住環境を守るため「環境保全宣言の町」となる</p> <p>9月 国際交流推進協議会発足</p>
平成 2 (1990)	<p>1月 風早北部地区ネットワーク推進委員会発足</p> <p>3月 風早南部地区ネットワーク推進委員会発足</p>	<p>5月 移動図書館「ふれあい号」スタート</p> <p>10月 町の花「ひまわり」となる</p> <p>10月 心身障害者福祉作業所「ひまわり園」開設</p>

年	旧沼南町社会福祉協議会のあゆみ	旧沼南町および社会の動向
平成 2 (1990)	<p>3月 普通会費 1 世帯 200 円を 300 円に改める</p> <p>4月 陶芸ボランティア「どろんこの会」組織化</p> <p>7月 第 1 回子供ボランティア（小学生対象）講座開始（平成 12 年廃止）</p> <p>8月 リフト付きワゴン車「ゆうあい号」貸出受託</p> <p>9月 第 1 回福祉まつり開催</p> <p>10月 沼南町心身障害者福祉作業所「ひまわり園」受託</p>	<p>10月 道路脇に花を植えたフラワーロードが誕生（花いっぱい運動）</p> <p>10月 資源ゴミ回収始まる（町有価物集団回収事業）</p>
平成 3 (1991)	<p>3月 大津ヶ丘地区ネットワーク推進委員会発足</p> <p>5月 社会福祉の拠点整備のため視察</p> <p>6月 視覚障害者ボランティア講座開催</p> <p>7月 住民参加型在宅福祉サービス「ひまわりの会」発足、事業開始</p> <p>9月 国際ボランティア貯金加入啓発</p> <p>10月 ボランティアワープロ講座開始（平成 6 年廃止）</p> <p>11月 視覚障害者とボランティアとの交流会開催 ガイドヘルパー派遣事業へ</p> <p>12月 第 2 代会長に富澤正男氏就任</p>	
平成 4 (1992)	<p>2月 平成 6 年 11 月「沼南障友会」発足へ（車椅子生活者情報交換会開催）</p> <p>4月 在宅福祉サービス専門員設置</p> <p>4月 安否確認を含む食事サービス開始</p> <p>11月 沼南町社会福祉協議会が千葉県社会福祉協議会会長表彰受賞</p>	<p>4月 手賀の丘公園管理棟「どんぐりの家」完成</p> <p>9月 公立小中学校週 5 日制始まる</p>
平成 5 (1993)	<p>1月 福祉映画会開催</p> <p>7月 北海道南西沖地震義捐金受付開始</p>	<p>4月 県立手賀の丘少年自然の家開所</p>
平成 6 (1994)	<p>4月 「沼南たんぼぼの会」登録</p> <p>11月 千葉県共同募金会において広報第 36 号が入賞</p>	<p>3月 沼南町老人保健福祉計画策定（平成 6 年度～11 年度）</p>

年	旧沼南町社会福祉協議会のあゆみ	旧沼南町および社会の動向
平成 6 (1994)		<p>6月 町内初の特別養護老人ホーム「アネシス」開所（布瀬）</p> <p>9月 町制 30 周年記念式典挙行</p> <p>9月 沼南町総合体育館オープン</p>
平成 7 (1995)	<p>2月 阪神・淡路大震災義捐金活動開始</p> <p>4月 市町村ボランティアセンター活動事業指定（3 年）</p> <p>ボランティア活動の発展強化を視点に</p> <p>4月 高等学校福祉教育連絡会設置</p> <p>4月 沼南マジック倶楽部発足</p> <p>11月 シニアいきいきライフゼミ開催</p>	<p>1月 藤川清氏が 4 代目町長に就任</p> <p>1月 阪神・淡路大震災発生で町から職員派遣</p> <p>5月 沼南町役場高柳出張所併設の高柳コミュニティセンターがオープン</p> <p>10月 第 1 回手賀沼マラソン 95 開催（2 市 1 町）</p>
平成 8 (1996)	<p>1月 ボランティア連絡協議会発足</p> <p>4月 福祉喫茶「ひまわり」運営</p> <p>5月 中山馬主協会の助成により福祉循環バスを整備</p> <p>5月 沼南ライオンズ・クラブ車輛寄付</p> <p>6月 日曜大工ボランティア講座を開始し、日曜大工ボランティアを組織化</p> <p>6月 沼南町福祉循環バス「いこい号」運行受託</p> <p>10月 沼南町第二心身障害者福祉作業所受託 町社協事務所を沼南町第二心身障害者福祉作業所内に移す</p> <p>11月 高齢者体験講座開始</p>	<p>2月 県大津川浄化施設が完成</p> <p>3月 町と姉妹都市である綾瀬市と「災害応援協定」締結</p> <p>6月 老人福祉センター送迎バスが福祉循環バスとして運行開始</p> <p>9月 手賀沼のハス群生地散策路完成</p> <p>10月 第二心身障害者福祉作業所オープン</p> <p>11月 町役場発着のバス路線新設</p>
平成 9 (1997)	<p>1月 日本海重油流出事故災害義捐金活動開始</p> <p>3月 ボランティアセンター並びにボランティアセンター運営委員会設置</p> <p>3月 沼南町福祉施設連絡会設置</p> <p>3月 移送サービス準備開始</p> <p>4月 地区社会福祉協議会設置規程制定</p> <p>4月 大津ヶ丘地区社会福祉協議会設置</p> <p>4月 沼南手賀沼ボランティア会発足</p> <p>環境ボランティアに登録</p> <p>9月 仮称「沼南町社会福祉センター」建設準備委員会開催</p> <p>9月 移送サービス開始</p>	<p>4月 沼南町立高柳西保育所開設</p> <p>4月 オーストラリア・キャムデンと友好都市協定締結</p> <p>8月 手賀大橋架け替え工事片側 2 車線で開通</p> <p>9月 第二工業団地の町名が「風早一・二丁目」となる</p> <p>10月 野田自動車車検登録事務所開設、車のナンバー「野田」となる</p>

年	旧沼南町社会福祉協議会のあゆみ	旧沼南町および社会の動向
平成 10 (1998)	<p>1月 ボランティア情報紙「ウェーブ」 (15号廃刊)</p> <p>4月 高柳地区社会福祉協議会設置</p> <p>4月 手賀地区社会福祉協議会設置</p> <p>5月 保育所・幼稚園・小学校・中学校福祉教育連絡会設置</p> <p>5月 仮称「沼南町社会福祉センター」の建設決定</p> <p>7月 沼南町社会福祉センター新築工事起工式</p> <p>7月 介護保険制度に対する検討開始 公的在宅福祉サービスを視점에</p> <p>10月 中学生ボランティア講座開始 (平成12年廃止)</p>	<p>1月 第1回子ども模擬議会が開催</p> <p>2月 第1回手賀沼流域フォーラム開催 (沼南町・柏市・我孫子市他共催)</p> <p>9月 「大津ヶ丘団地誕生20周年記念祭」 団地内で開催</p>
平成 11 (1999)	<p>3月 介護保険制度参入への意思決定</p> <p>4月 沼南町社会福祉センター完成 (沼南町、日本自転車振興会の補助により)</p> <p>4月 沼南町社会福祉センター内に町社協事務所を移す</p> <p>4月 沼南町ヘルパー派遣事業受託</p> <p>5月 沼南町社会福祉センターオープン</p> <p>5月 風早南部地区社会福祉協議会設置</p> <p>6月 千葉県共同募金会からワゴン車配分</p> <p>7月 ふれあいのまちづくり事業指定 (5か年) 社協発展・強化のため、理念・活動計画・総合相談等を視점에推進</p> <p>10月 風早北部地区社会福祉協議会設置</p> <p>11月 さわる絵本講座の開催その後、 チューリップの会組織化</p> <p>12月 全国社会福祉協議会会長表彰受賞</p> <p>12月 子供室ボランティア登録</p>	<p>1月 中央公民館図書室が新装オープン</p> <p>4月 流山運転免許センター業務開始</p> <p>4月 手賀沼2000年委員会発足</p> <p>4月 徘徊老人早期発見のための柏・沼南のネットワークが発足</p> <p>6月 特別養護老人ホーム「沼風苑」がオープン</p>
平成 12 (2000)	<p>2月 ふれあいのまちづくり推進会設置</p> <p>4月 視覚障害者ガイドヘルプ事業開始</p> <p>4月 指定居宅サービス事業所(訪問介護)開設</p> <p>4月 沼南町基幹型在宅介護支援センター</p>	<p>1月 手賀沼2000年委員会が21世紀を迎えて各種イベント実施</p> <p>4月 介護保険制度がスタート</p> <p>4月 沼南町役場ホームページ開設</p> <p>4月 北千葉導水路事業が完成。第2機場</p>

年	旧沼南町社会福祉協議会のあゆみ	旧沼南町および社会の動向
平成 12 (2000)	<p>受託 (3 か年)</p> <p>4 月 沼南町ことばの教室受託</p> <p>4 月 沼南町金婚式祝業務受託 (2 か年)</p> <p>4 月 地区社会福祉協議会高齢者事業助成受託</p> <p>4 月 沼南町生きがい事業受託 (平成 15 年 4 月社団法人シルバー人材センターへ移行)</p> <p>4 月 障害者ホームヘルパー派遣業務受託</p> <p>4 月 生活支援型ホームヘルパー派遣事業受託</p> <p>4 月 軽度生活援助事業受託</p> <p>4 月 指定居宅介護支援事業所開設</p> <p>9 月 地域福祉活動計画策定委員会設置</p>	<p>(柏市戸張) から利根川の浄化用水を手賀沼に注水開始</p> <p>4 月 地域子育て支援センター開設</p> <p>12 月 市町村合併推進要綱が定められ、沼南・柏の合併案が初めて提示される</p>
平成 13 (2001)	<p>3 月 介護支援車輛整備 (日本財団の助成により)</p> <p>4 月 弁護士による法律相談開始 (松戸弁護士会協力)</p> <p>4 月 子育て支援サービス開始</p> <p>4 月 事業安定化運用基金設置</p> <p>12 月 第 3 代会長に勝矢孝雄氏就任</p> <p>12 月 心身障害者ホームヘルプサービス事業受託</p>	<p>1 月 21 世紀手賀沼八景が決まる (沼南町・我孫子市各 3 か所、柏市 2 か所)</p> <p>4 月 道の駅「しょうなん」がオープン</p> <p>4 月 家電リサイクル法施行 (エアコン他 3 種類)</p> <p>5 月 さわやかプラザ軽井沢オープン (2 市 1 町で運営)</p> <p>5 月 「もってこい講座」が始まる</p> <p>6 月 高柳児童ルームがオープン</p> <p>10 月 住民票など 3 市 1 町で共同交付開始</p>
平成 14 (2002)	<p>3 月 地域福祉活動計画策定</p> <p>4 月 福祉サービスに対する苦情解決制度制定</p> <p>8 月 経営委員会設置</p>	<p>1 月 都市計画税が課税</p> <p>4 月 学校の完全週 5 日制が始まる</p> <p>4 月 しいの木台地区にレインボバス運行</p> <p>8 月 手賀沼の水質全国ワースト 1 を脱出 (平成 13 年公表データ)</p> <p>11 月 ケアハウス「沼南の里」完成</p>
平成 15 (2003)	<p>4 月 自立支援目的基金設置</p> <p>4 月 法外援助事業開始</p> <p>4 月 日常生活支援サービス事業開始</p> <p>4 月 居宅介護等事業 (身体障害者・知的障害者・児童) 開始</p> <p>4 月 精神障害者居宅介護事業開始</p> <p>5 月 町社協のホームページを開設</p>	<p>1 月 町内に不法投棄監視システム導入</p> <p>4 月 社団法人沼南町シルバー人材センター開設</p> <p>4 月 藤ヶ谷ふれあいセンターオープン (2 市 1 町環境衛生組合地域還元施設)</p> <p>6 月 ミニ・ファミリーサポートセンターがオープン</p>

年	旧沼南町社会福祉協議会のあゆみ	旧沼南町および社会の動向
平成 15 (2003)	6月 沼南町ミニ・ファミリーサポートセンター受託	7月 柏市・沼南町合併協議会発足 8月 住民基本台帳ネットワークサービス、全国規模で運用開始（住基カード発行）
平成 16 (2004)	1月 社会福祉協議会合併協議会会議開催（2回） 4月 社会福祉協議会合併協議会会議開催（5回） 9月 柏市・沼南町社会福祉協議会合併契約調印式 10月 新潟県中越地震義捐金活動開始	1月 新しい沼南町商工会館完成 2月 町商工会青年部による沼南独自のキャラクター「テガレンジャー」がデビュー 8月 柏市・沼南町の両議会において合併に関する議案が可決される
平成 17 (2005)	3月 地区社協活動の手引き発刊 入門・基本・活用・便利編 3月 社会福祉法人柏市社会福祉協議会に編入合併のため解散（3月27日）	3月 沼南町閉町記念式典挙行（3月19日） 3月 沼南町が「千葉県柏市」となる（3月28日）

2 写真で綴る柏市社会福祉協議会の活動

① 昭和49年～昭和62年

昭和49年 第1回市民大バザール大会開催



昭和50年 第1回支部長会議開催



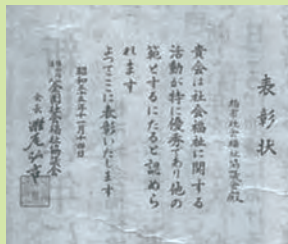
昭和51年 青少年ボランティアスクール開催



昭和52年 活動を誓うボランティア



昭和53年 身障者スポーツ大会



昭和55年
全国社協会長表彰受賞

昭和57年 第1回かしわっ葉福祉まつり開催



昭和58年 第1回柏ことぶきゲートボール大会開催



昭和60年 老人ホームを訪問するボランティア



昭和59年 独居老人を囲む会開催



昭和62年
1円玉募金 PR ポスター



② 平成4年～平成19年

平成4年 愛の文通交流会



平成5年 さわやかサービス協力員養成講座開催



平成10年 小学生夏休み手話教室開催



平成16年 柏市・沼南町社協合併契約調印式



平成18年 こらくだくん有償運行開始



平成8年 創立40周年記念 第23回柏市住民福祉大会



平成11年 いきいきカルチャー柏開講



平成13年 街頭募金



平成17年 保健福祉情報誌「お役立ちくん」改訂版発刊



平成18年 第1期柏市地域健康福祉活動計画発行

平成19年 風早南部地域在宅介護支援センター開設



平成19年 子育てサロン



平成19年 地区懇談会



平成18年 創立50周年記念 第33回柏市住民福祉大会開催

③ 平成 20 年～平成 22 年

平成 20 年 ファミリーサポートセンター全体交流会



平成 21 年 風早南部地域活動センター開設式



平成 21 年 ふれあいサロン



平成 21 年 ふれあい給食



平成 22 年
沼南社会福祉センターこども室リニューアルオープン



平成 22 年 柏レイソルとの街頭募金



平成 22 年 松葉町地域活動センター開設式・松葉ふくしサミット



④ 平成 23 年～平成 25 年

平成 23 年 被災地支援ボランティア



平成 23 年 ボランティアセンターオリジナルロゴ決定



平成 23 年 認知症にやさしい紙芝居発行



平成 24 年 市民後見人養成講座開始



平成 24 年 災害ボランティアセンター設置訓練



平成 24 年 会員募集チラシ発行



平成 25 年
かしわボランティアフェスタ



平成 25 年 第 3 期柏市地域健康福祉活動計画策定委員会

平成 25 年 光ヶ丘地域活動センター開設式



⑤ 平成 26 年～平成 28 年

平成 26 年 介護予防講座



平成 26 年 お元気コール



平成 26 年 柏まつりふれあいストリート運営開始



平成 27 年 市内社会福祉法人顔合わせ会



平成 27 年 柏市地域支え合い体制整備研究会（生活支援体制整備事業）



平成 27 年 豊四季台地域いきいきセンター開設式



平成 28 年 地域子育て支援拠点「はぐはぐひろば沼南」開設



平成 28 年 ドラムサークルファシリテーター育成講座



平成 28 年 わたしの望みノート改訂版発行



■ 創刊号

1974 10/1

発行 社会福祉法人 柏市社会福祉協議会
 柏市 柏 5-9-7
 柏市 佐野 5-10-1
 〒117 011-1111

ふくし広報 創刊号

目標
 だれもが
 しあわせな
 よい地域社会を
 めざして

＜発行部数 55,000 余り帯配布＞

ごあいさつ
 柏市社会福祉協議会
 会長 渡辺豊夫

このたび、各関係者のご協力をいただき、柏市社会福祉協議会の機関誌「福祉かじり」を創刊いたしました。創刊号を拝見し、出展件数にお届けできますことを心からうれしく存じます。

日ごろ、地域における社会福祉の推進のための諸活動に対し、市民各方面から多大のご協力をいただき、心から深く御礼を申しあげたい所です。ここまう年頃から政治の状況は固をあげて開業から福祉福祉へと転換しつつあり、国民各層からもこのことによりややく関心と期待が寄せられております。このことによりややく関心と期待が寄せられております。このことによりややく関心と期待が寄せられております。このことによりややく関心と期待が寄せられております。

社会福祉協議会における地域の実効的な活動方針については、市民各層のご理解とご協力をいただきながら、本会独自の取組をはじめ、経済環境の改善をはかりつつ、より実効を期してゆきたいものと願っております。

また、市民福祉の向上について、市民各層からの御協力とご協力をいただきながら、本会独自の取組をはじめ、経済環境の改善をはかりつつ、より実効を期してゆきたいものと願っております。



■ No.5

1978 No. 5 1-15

発行 社会福祉法人 柏市社会福祉協議会
 柏市 柏 5-9-7
 柏市 佐野 5-10-1
 〒117 011-1111

広報 社福かじり

目標
 だれもが
 しあわせな
 よい地域社会を
 めざして

新春を迎え活躍を誓うボランティア

新しい年を迎え、謹んで
 ご祝詞を申しあげます

柏市社会福祉協議会
 会長 渡辺豊夫

新春を迎え、活躍を誓うボランティア。この写真には、ボランティア活動に参加している人々の姿が写っています。彼らは笑顔で立っており、活動の楽しさを表現しています。

■ No.10

1977 No. 10 5-1

発行 社会福祉法人 柏市社会福祉協議会
 柏市 柏 5-9-7
 柏市 佐野 5-10-1
 〒117 011-1111

広報 社福かじり

目標
 だれもが
 しあわせな
 よい地域社会を
 めざして

今後の活動が期待される学生ボランティア
 パワー大会開催風景

お礼のことばとお祝い
 柏市社会福祉協議会
 会長 渡辺豊夫

このたびは、学生ボランティアの活躍が期待されるパワー大会を開催いたしました。参加された学生ボランティアの皆様、ご参加いただき、誠にありがとうございました。また、お祝い申し上げます。

■ No.15

1978 No. 15 10-15

発行 社会福祉法人 柏市社会福祉協議会
 柏市 柏 5-9-7
 柏市 佐野 5-10-1
 〒117 011-1111

広報 社福かじり

目標
 だれもが
 しあわせな
 よい地域社会を
 めざして

祝結婚50年
 結婚50周年記念祝賀会

九十四組のご夫婦を祝う
 九月十五日(日)

このたびは、結婚50周年記念祝賀会を開催いたしました。参加されたご夫婦の皆様、ご参加いただき、誠にありがとうございました。また、お祝い申し上げます。

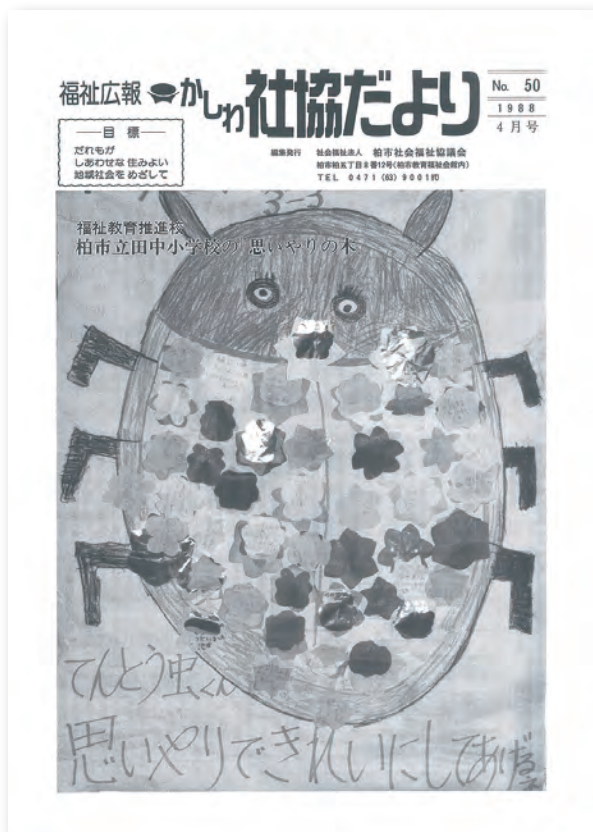
■ No.40



■ No.45



■ No.50



■ No.55



■ No.140

『柏社協だより』は、
地域福祉の情報紙に
生まれ変わります!

No.140
2009
5.1

編集・発行 社会福祉法人柏市社会福祉協議会
〒277-0005 千葉県柏市稲毛5-11-1
介護予防センター1階1号ブース TEL: 04-7163-3100 FAX: 04-7163-3101
<http://www.kashiwa-shakyo.or.jp>

◆今後5か年の活動計画……2
◆東部南部地域活動センターオープン！……3
◆情報広場……4・5
◆平成21年度事業計画及び予算……6
◆寄付者のご紹介・各種相談案内……7
◆「ボランティアセンターだより」第3号……8

【巻頭特集】
近所にも
家族と同じ
思いやり

生活役立ち
情報満載

創刊号 50号 100号 120号 139号

誰もが参加
できる講座
イベント情報

福祉制度の
ご案内

地域で頑張る
地域活動団体等
の紹介

次号は8月1日の
発行予定です。
ご期待ください!

Information
「柏社協だより」は、地域福祉の情報を紙と紙で伝える。読みやすいタイトル(名前)を柏市市民の皆さんから募集します。
◆応募方法:はがき1枚に付き情報紙のタイトルを1つ記入、住所・氏名・電話番号とタイトルへの想いを明記し、お返まで送ってください。

◆締め切り:5月31日(日)の午後
※カーネーションでも応募できます。
◆結果発表:8月1日
◆採用されたタイトルは、8月1日より使用します。
◆応募先:〒277-0005 柏市稲毛5-11-1
社会福祉協議会「情報紙の名づけ帳」係
柏市社会福祉協議会

■ No.145

地域福祉の情報紙
紙ひこまき
No.145
2010.8.1
(第488発行)

平成21年度「福祉の心」作品展 雑誌の部「思いやり」言葉に出せず 行動に!

子育てに関する
さまざまな活動を支援

世代を超えた交流事業

地域でのサロン活動を支援

地域密着型社協の
実現に向けて…
地域の様々な事業を支援

介護予防に関する
健康福祉事業の実施

元気な高齢者の活動を紹介……2、3
情報広場……6、7
市社協からのお知らせ・漢字・その他……6、7

編集・発行 社会福祉法人柏市社会福祉協議会 <http://www.kashiwa-shakyo.or.jp>
〒277-0005 千葉県柏市稲毛5-11-1
介護予防センター1階1号ブース TEL: 04-7163-3100 FAX: 04-7163-3100

■ No.150

地域福祉の情報紙
紙ひこまき
No.150
2011.11.1
(第498発行)

「建設も あるたのしみ ハリアアワー」

(目次) ファミリーサポート、さわやかサービス……2、3 情報広場……4、5 会員募集・特別会員紹介……6、7 寄附者紹介、その他……1

みんなで安心して暮らせる
福祉のまちに

赤い羽根募金は、地域の福祉活動や県内の福祉施設・民間福祉サービス団体・災害見舞金等に使われます。
また、歳末助けあい募金は、生活困窮世帯・福祉活動団体への助成金や各地区社協事業の支援に使わせていただきます。

千葉県共同募金会柏市支会では、10月から12月までの3か月に各町会・自治会・区等を始め、様々な方々のご協力を得て運動を展開しております。一人ひとりの募金が、地域福祉の充実につながりますので、皆様あたたいご協力をよろしくお願いいたします。

赤い羽根共同募金がスタート

10月1日・2日、船検前(東口・西口・南口)を中心に、多くのボランティア団体、当業者団体、市内の児童生業により、街頭での募金活動を行いました。募金にご協力いただいた多くの市民の方々に感謝申し上げます。

編集・発行 社会福祉法人柏市社会福祉協議会 <http://www.kashiwa-shakyo.or.jp>
〒277-0005 千葉県柏市稲毛5-11-1
介護予防センター1階1号ブース TEL: 04-7163-3100 FAX: 04-7163-3100

■ No.155

地域福祉の情報紙
紙ひこまき
No.155
2013.5.1
(第503発行)

「家族で何かおもしろい、思い出」

(目次) 民生委員・児童委員について……2、3 情報広場……4、5 重なり合う暮らし……6 寄附者紹介……7

最近もの忘れが
気になる……

いつも
ありがとう!

緊急通報システムの
サービスも有るんだけれど、
父さん、母さん
今夜、説明を聞いて
みようよ。

**民生委員を
ご存知ですか?**

民生委員は、地区住民の一番身近な相談窓口として地域で活動し、必要に応じて行政とのパイプも持つ地域の身近な相談者です。

さよう、
学校の帰りパトロールを
して見せてくれて
なんだよ……

ひとりしていると
何かあったとき不安……
そんな時、民生委員さんに
相談を!

編集・発行 社会福祉法人柏市社会福祉協議会 <http://www.kashiwa-shakyo.or.jp>
〒277-0005 千葉県柏市稲毛5-11-1
介護予防センター1階1号ブース TEL: 04-7163-3100 FAX: 04-7163-3100

■ No.160

紙ひこうき
HAMIHIKOUKI
Vol.160

HAMIHIKOUKI HAMIHIKOUKI HAMIHIKOUKI
●平成26年度「福祉の心」作品展 標語部門 「うまれたよ ちさいけれど おもたいのち」【たくさんのおいでで育つ ぼくらの命】

特集
Shakyoのお仕事紹介
ボランティアセンターと
地域支援担当……②、③

ボランティアセンター
「生涯学習フェスタ」で福祉教育

地域支援担当
「ウォーキング講座」

社協

■編集／発行 2015.1.15
社会福祉法人 柏市社会福祉協議会 介護予防センター いさいきプラザ
〒277-0005 千葉県柏市柳5-11-8 TEL 04-7163-9000 FAX 04-7163-0300

■ No.165

Vol.165
紙ひこうき
HAMIHIKOUKI

地域子育て支援拠点
【はぐはぐひろば説明】

いこいのそよ風【絵本の読み聞かせ】
【第4次曜日】

特集
**たすけあい活動・
通いの場
かじサボ研修について**
……②、③

柏市社会福祉協議会からメッセージ
【東久井やまわり園】での障がい者に対する殺害事件において、亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、けがをされた方々の一日も早い回復を願っております。
この事件については、全国手をつなぐ非営利連合会からも「障害のある人もない人も、私たちは一人ひとり大切な存在です。障害があるからといって誰かに蔑つてられたりすることは、あってはなりません」とのメッセージが発信されています。
柏市社会福祉協議会としても、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進しながら、障がい者のみなさんへの支援に引き続き取り組んでまいります。

■編集／発行 2016.9.1
社会福祉法人 柏市社会福祉協議会 介護予防センター いさいきプラザ
〒277-0005 千葉県柏市柳5-11-8 TEL 04-7163-9000 FAX 04-7163-0300

社協

●平成27年度「福祉の心」作品展 標語部門
【だいじょうぶ みんなでこえかけ ささえあおう】「小さい手だけど 勇気を出して さしたすよ」